

国際ロータリー第2790地区 第8グループ

創立1957年3月23日

# 銚子ロータリークラブ会報

第3228号 2023年9月6日(水)発行

例会場 銚子商工会館5階大会議室(銚子市三軒町19-4)

TEL0479-23-0750

FAX0479-25-8789

Email d2790@choshi-rotary.club

HP <https://www.choshi-rotary.club>

## 本日のプログラム

「寄付について」 上総 泰茂会員  
「刑事弁護と慰謝料」 泉 英伸幹事

## 前回例会報告(8月30日)

点 鐘: 佐藤 直子 会長

ロータリーソング: 四つのテスト

## 会長挨拶「夏休みの宿題の謎」

あと少しで子供たちの長い夏休みも終わろうとしています。皆様方のお子さん、あるいはお孫さんも大いに夏休みを満喫されたことと思いますが、**夏休みの宿題**は終わっていますでしょうか? さて、皆様は、夏休みの宿題を最後の一日で片付けたことはありませんか? 多くの方が、夏休みの宿題を**最後の一日**、あるいは**最後の数日**で片付けたという経験があるかと思います。

では、宿題が一日で終わるのであれば、最初の一日で全部やってしまえばいいと思うのですが、**実はそれはできないのです**。背水の陣、火事場の馬鹿力、窮鼠猫を噛む・・・限界状態に追い込まれた人間が、実力以上の力を発揮することは知られています。

また、夏休みの宿題に限らず、皆様も「**明日までの締め切り**」といった期限が迫った仕事に取り組む場面で「**火事場の馬鹿力**」を發揮したことがあるはずです。そんな時・・・**制限時間を決めると、仕事は効率化します**。ある仕事は「一時間で終わらせる」といった時間単位で**制限時間**を設ける、あるいは日にち単位で**期限や期日**を設けると、同様に集中力がアップし、仕事の効率が高まります。

それでは、**なぜ人間は追い込まれると、そこまでのすごい力を發揮できるのでしょうか**。これもまた、**脳科学的に説明**されます。人は追い込まれると**ノルアドレナリン**が分泌されます。ノルアドレナリンは、集中力を高め、学習能力を高め、脳を研ぎ澄まします。結果として、**脳は最高のパフォーマンスを發揮する**のです。

この夏も多くの感動を与えてくれた高校球児は、約2年半の高校生活で結果を出さなければいけません。だから多くの方が感動するように、**終わりの時を決めると充実します**。終わりの時に近づくことを意識すると色々なことが輝いていきます。人の一生もそうかもしれません。人の命に限りがあるからこそ、世の中のため、人のため、仲間のため、家族のため、何をすべきか、何をしたいのかが明確になると思います。

**アップルの創業者、スティーブ・ジョブズ**は、「もし今日が人生最後の日だとしたら、今日やる予定のことを私はやりたいだろうか?」と自分自身に毎日問いかけていたと言います。「もし今日が**最後の日**だとしたら」が前提にあるからこそ、**本当にやるべきことが見えてくるのだと思います**。いつまでも時間があると思ったら、人はなかなか奮闘しません。余命一日と宣告されたら一分一秒を大切に生きます。**時間の意識は大切です**。

※銚子ロータリークラブスローガン『**個々の違いや個性を組織の強みとして活用し、個人とクラブの双方が最大のパフォーマンスを發揮しよう!!**』ご清聴ありがとうございました。

## 幹事報告

1. 地区大会記念ゴルフ大会ご案内
2. 風の便り Vol.1.9 No.1 (通刊106号)
3. 管理運営セミナーご案内  
…ガバナー事務所
4. 令和5年秋の全国交通安全運動出動式及び交通安全キャンペーン等の参加について  
…銚子市交通安全都市推進協議会

## 【例会変更】

旭 RC

9月22日(金)観月家族会ホテルモール点鐘18時30分

29日(金)休会 細則第5条第6節(1)により

第8グループ ロータリー情報研修会

11月12日(日)→ 11月5日(日)に変更

2023-24年度ゴードンR. マッキナリーR I 会長テーマ

CREATE HOPE in the WORLD



世界に希望を生み出そう

世界に希望を生み出そう

製作◇広報・会報委員会 熊澤直紀 大岩將道 須永清彦◇

2790地区 鶴沢和広ガバナー(千葉若潮RC)スローガン

Bring up Engagement

エンゲージメントを育もう

## 会員の記念日

お誕生日おめでとうございます！



信太 秀紀会員  
(8月25日)

入会記念日 大岩 將道会員(8月28日)

## ニコニコBOX

◇大ニコニコ 伊藤 浩一会員



母校 慶應義塾高校が全国高校野球大会で1916年以来107年振りの優勝を果しました。私に迄大勢の方々から祝福して戴き有難うございました。

◇宮内 龍雄会員

うちの婿さんが文化放送の番組のザブトン5に出演しました。立川志の輔さんとちよーぴ体操のPRをしています。放送は9/4、5の午後6時より。お見逃しなきようお願いいたします。

## 卓 話

第三回「米山世界大会 再会 in 関東」に参加して  
高瀬 幸雄会員



本日は阿天坊会員の卓話になっていましたが、阿天坊会員には急な用事が入りました関係で急遽私の卓話になりました。ガッカリさせない卓話に努めますが眠くなりましたらロータリアンの寛大なお心でお許しいただきたいと思ひます。

私は米山世界大会に参加するのは今回が2回目です。最初が2019年にモンゴルで開催された第二回米山世界大会でした。この年の7月25日(木)20時30分成田からモンゴルに向けて出発し、7月29日(月)19時30分に成田に到着するまでの4日間をモンゴルで滞在する世界大会でした。参加者は16ヶ国から400名、モンゴル関係者200名、総勢600名の参加で、大変楽しい大会だったと記憶しています。今回、偶然にも銚子ロータリークラブの参加メンバーはモンゴル米山世界大会と同じであったことに気が付き、銚子ロータリークラブはこんなに熱心な米山ファンが多くいることに感動致しました。

モンゴルの世界大会開催時点では、翌年にコロナ感染拡大が起こることなどは夢にも思いませんでした。しかし年が明けた1月15日に日本での感染者報告があり、それからは悪夢のようなコロナ感染拡大が起こり世

界中を混乱のるつぼに陥れることになりました。そんなことで今回は、モンゴル開催から4年の時を経ての開催になりました。

ここで米山学友会の歩みをお話しさせていただきたいと思ひます。2016年度のロータリー国際大会が韓国ソウルで開催され、ロータリー米山記念奨学会はこの大会に米山ブースを設けることを決めたようです。このブースの準備を進める中、世界の米山学友たちは「学友合同親睦会 in ソウル」を企画し、大会に臨んだところ、大会には10ヶ国から米山学友会の会員、ロータリアン、カウンセラーなど400名の方々に参加をし、想像を絶する盛大な米山学友イベントになったようです。この成功により、米山学友は米山学友会のイベントを、世界的なレベルまでもっていくことが可能であるとの自信を持ち、当時参加した各国の米山学友会の会長たちに米山世界大会の開催を提案したところ、満場一致で賛成を得ることができたことから、本イベントは2年ごとに開催地を決め米山学友主催親睦会を継続的に開催することを決めたのが始まりのようです。そして2017年に熊本で第一回世界大会が、二回目が2019年モンゴルで、そして2021年に台湾が決まっていたがコロナ感染の影響で中止、そして今回2023年茨城県つくば市での開催になりました。そして、2021年コロナ感染の影響で中止になった台湾が、次回の2025年での開催地に決まりました。

大会当日の8月5日(土)銚子ロータリークラブ関係者は奨学生のイムヒョジンさん、そしてロータリアンは私を含め7名で(宮内龍雄、金島弘、宮内秀章、高橋宏資、大里忠弘各会員)参加致しました。イムさんは別行動になりましたが、金島会員の発案で待合せ場所は茨城県の有名ラーメン店(丸源ラーメン)とし、12時頃と決め当日を迎えました。当日私は少し遅れ12時30分に目的地に到着。金島会員、寺内会員は既に店内に入っておりそこで三名で合流し昼食をとることに致しました。そこで金島会員が店員を呼び注文をするときに、当クラブの信太会員が時々お話しをする宣伝文句を一言「信太社長の紹介でこの店に来ました、肉そば三つと焼き飯一つ」を注文したところ餃子3人分が無料で料理に付いてきました。

そして店長の宮内様が挨拶に来られ名刺交換をさせていただきます。さすが信太社長の言葉に偽りなしと変な感心をした次第です。

余談ですが得した気分になり、何か適当なデザートはないものかと探したところ1個100円程の格安のソフトクリームがメニューにありましたのでそれを三個、食後に注文致しました。

昼食後、銚子ロータリアン7名が宿泊するホテルマークワンに車を止め、私は金島会員の車に乗せてもらい現地国際会議場に向かいました。

14時前に会場に到着、イムヒョジンさんは会場受付で弁当の仕分け係を手伝っていましたので挨拶をし、開場時間の14時30分までロビーで待機することにしました。

14時30分のオープニングセレモニーは「しらとり太鼓」による演出で素戔鳴尊(すさおのみこと)が八岐大蛇(やまたのおろち)を退治する演目が5分間程あり、そのあと「しらとり太鼓」の演奏に合わせて、それぞれの国の国旗を学友会たちが手に持ちステージ中央に並びました。

余談ですが「しらとり太鼓」について調べてみると、創設者渡辺征男氏が社会福祉法人征峯会を昭和61年に設立し、昭和62年に障がいのある方の支援施設(しらとり更生園)を開設、創設者渡辺氏はどんな重度の障がいのある人にも、何かしらの役割を持ってもらいたいと考え「働くこと・日中活動」を大切にしてきたようです。そして利用者の個性を伸ばす活動として「和太鼓」「ねぶた」「よさこいソーラン」などを積極的に取り組んだ結果、その施設に入る障がい者の方々が練習を重ね「しらとり太鼓」を立ち上げ色々な場所で公演を行っているようです。素人の私には太鼓の知識は有りませんがバチさばきも立派で感動致しました。

今回の第3回米山学友会による世界大会は「再会 in 関東」と題して開催されました。

茨城県つくば市を開催地として選んだ理由はこの地が世界最大級のサイエンスシティであること、そして勉学目的で来日した経験を持つ我々米山学友たちが集うのに相応しい都市であること、それに加え、東日本大震災で被災したこの場所に、大勢が参集することで、地元貢献にも繋がり、地域活性化に少しでもつなげたいという地元米山学友たちの願いが込められている場所であるとの説明がありました。そんな思いの詰まった開催のお陰で、大会登録者は世界38ヶ国地域から1200名を超え、米山奨学生、学友、その家族友人の参加者は予想を大きく超え全体の三分の二を占めることになりました。そして本大会1200名、晩餐会1150名、前夜祭370名、研究所巡りバスツアー420名とどのプログラムも満員御礼になったとの報告がありました。

実行委員長の朴貞子さんは2006-08年度の第2640地区の米山記念奨学生で大阪の岸和田RCの支援を受けた方で、現在第2750地区東京米山友愛ロータリークラブに所属されています。挨拶では、米山の世界大会はロータリアンの支援により育てられた米山奨学生・学友たちが力を発揮できる場所でもあり、米山学友、米山奨学生、ロータリアンの皆様が「お帰り、ただいま、久しぶり」と笑顔で「再会」を喜び合い、「交流」の楽しいひと時を過ごせる場所です。海外や遠方からも多くの参加を頂き、こんな嬉しいことはありません。と述べられそして、日本独自の合同奉仕プロジェクトである米山記念奨学事業に、その恩恵を受けている我々は「御恩」に感謝し、「御縁」を大切に、米山奨学生や仲間達との活動を通じて、これを機として、各地区で点在する米山学友会の活性化と連携促進に繋げることができれば幸いですと挨拶されました。そして今回の開催は学友たちが力を合わせ自前で開催までこぎつけることが出来ました。このことに関しては大変感激しています、しかし運営面では皆様方に多くのご迷惑をおかけしたこ

とに対しお詫び申し上げますと述べられました。ロータリークラブの地区大会もこの学友会の大会運営を見習うことも必要との思いがしました。学友たちの手作り運営は人に感動を与えることが出来ると感じました。そして、学友の人たちに対し、このように話をされました。学友の皆様は急いでロータリーに入る必要は有りません。自分が努力し必要と認められてから入れば良いことです。又、こんなことも発言されました「ロータリーは辞めることが出来るが」「米山は辞めることはできません」それは御恩があるからです。この言葉に私は感動を覚えました。

そのあとの、パネルディスカッションではファシリテーターの宮崎陽市郎 2750 地区ガバナーが務められ、パネラーには日本、台湾、韓国、モンゴル、ベトナムの方がそれぞれの思いを述べられました。

その中で、印象に残った言葉を三つお伝えします。一つが、学友会の人数も2200名を超え、非常にパワーのあるネットワークになっています。歴史を重ねるごとに、一つの点が線に、そして輪になり、そしてその輪を広げ世界平和に貢献したいと思えます。

二つ目が、この大会が開催されるにあたり、各学友は各地区でチャリティー奉仕活動を行いました。海岸清掃活動、子供の貧困に対する支援で子供食堂の開設、障がい者施設にクリスマス飾りの提供、募金活動等多くの社会奉仕活動を行ったとの報告があり、我々ロータリアンも参考にしなければならぬとの思いを強く感じました。

三つ目が、韓国の方の話で、お父さんは日本に対して良い印象を持っていなかったようです。娘が日本に留学する時にお父さんはこのように話をされたようです。お父さんの話の先入観を捨てて日本に行きなさい、そしてあなたの目で日本を見て日本を感じなさいと言って日本へ行くことを後押ししてくれたようです。今は、子供を授かり東京に住んでいるとのこと。矛盾はどこにでもあります希望を持つことを忘れてはいけませんと言っていました。

晩餐会は東雲ホテルで開催されましたが、人数があまりにも多く、ショーが行われる会場には収まり切れず、私たち銚子ロータリーのメンバーは別の部屋での晩餐会になりました。又、銚子ロータリアンの席もバラバラになってしまったことで、ディナーショーの見学はできませんでしたが、私のテーブル席にはイラン人のゲイビ・アデルさんが居られその方は、柏西ロータリークラブで本年度会長に就任したとばかりで、日本に26年住んでいるとのことでした。(カーペットの販売)、

又、つくばシティロータリークラブの遊佐浩会長は医療法人社団遊佐歯科口腔外科クリニック理事長や同クラブの林漢玄氏(中国国籍)、そして2790地区の本年度奉仕プロジェクト統括委員長の水野様等も同席で国際色豊かな晩餐会になり、その方々と色々なお話をさせていただき、大変勉強になりました。又、モンゴルでお会いし、銚子ロータリークラブに卓話でお見えになった東京中央新ロータリークラブのウルルマさんとの再会も

あり、楽しい晩餐会のひと時を過ごさせていただきました。

8月6日(日)の研究所巡りのバスツアー参加は私一人になりましたが、同乗したバスに東京赤坂ロータリークラブの熊本誠司さんが居られ、その方もお一人だったので横の席で終日、色々なお話をしながら楽しい時間を過ごさせていただきました。

熊本誠司さんは設計事務所を経営されており、RLI 日本支部事務局の仕事もされておられ銚子ロータリークラブでも RLI を取り入れたらいかがですかと言ってくださいました。

私の乗車する8号車は9時に東雲ホテルを出発、最初に到着したのが筑波実験植物園でした。今、NHK 朝の連続テレビ小説「らんまん」の主人公は槇野万太郎ですが、実在モデルは植物学者の牧野富太郎氏であり「らんまん」はその人の生涯を描いたものです。その関係もあり、入り口には「らんまん」のポスターが貼ってありました。この施設は広さが 14 万平方メートルで 3000 種類の植物を見学することが出来ることが案内に書かれていました。

絶滅危惧植物や水生植物、筑波山の植物、シダ植物他、多目的温室、熱帯資源植物温室、サバンナ温室、熱帯雨林温室なども設けられおり、その施設を見て回りましたが、当日は猛暑日だったので施設の見学は大変な汗をかいてしまいました。

ここで興味のある C4 植物が展示していたので後で調べてみると日本には維管束植物は約7500種類あり90%以上が C3 植物のようです、その中の 5.6%が C4 植物で 419 種類ほどあるようです。この植物の特徴は酸素を使って CO2 を取り込み一般的に高い光合成速度と高い乾物生産能力を有し、特に亜熱帯や熱帯において優位と云われていますが、弱点は低温に弱いことのようにです。

地球環境に良いと思う植物にも適材適所がり、どんな生態系も共存共栄を図っているものだと感心した次第です。

次に筑波宇宙センター(JAXA)に行き展示館「スペースドーム」に入って5分後ぐらいに豪雨見舞われました。その為に1時間の見学時間をその展示館内で過ごすことになってしまいました。

展示館入り口には 100 万分の1の大きさの地球を模したドリームポートがあり、その地球の上に白い弧の光の線がありました。それは地上から 100Km の位置を示しており国際航空連盟ではここから上空を「宇宙」と定義しているとの説明書きが有りました。因みに旅客機が飛ぶ高さはおおよそ 10Km なのでその 10 倍ほどの高さになるようです。展示されているものは実際に人工衛星などに搭載されたテレビ中継器や地球全体の降水量を測定する降水レーダーなど宇宙で活躍した機器類が多く展示されていました。

そろそろ集合時間が迫ってきた時にタイミングよく小雨になったので走って駐車場に向かうことができました。その後は雨に合うことは有りませんでした。昼食会場は

日航ホテルで野菜カレーを頂きました。食事後、つくばエキスポセンターでは大人から子供まで、科学技術を見て・触れて・楽しむことが出来る科学館で、ここにはしんかい 6500 やトカマク型核融合装置などが展示されていました。

又、この施設内には世界最大級のプラネタリウムホールもありましたが、時間の関係でそちらの見学はできませんでしたが、別の日に一度訪れたいとも思いました。そのあと、地図と測量の科学館では、地図や測量に関する歴史、原理や仕組み、新しい技術などを総合的に展示されており、古地図コーナーには、水戸藩の儒者長久保赤水が作成した赤水図、伊能忠敬が作成した伊能図、明治に陸軍参謀本部が作成した迅速図などが展示されており興味深く見学させていただきました。そして 17 時過ぎに東雲ホテルに戻り解散となり、無事 1泊2日の米山世界大会を終えることができました。

最後に皆様にお伝えしたい言葉があります。名前は忘れましたが、あるガバナーの挨拶でこんなことを言っていました。

コロナや病気は困りますが、米山を大切に、そして米山に対する思いが強く、友情を育み、恩を大事にする方は確実に米山病にかかっています。

そして今回参加された方は完全に米山病に取りつかれている方と確信いたしました。

帰られたら、各クラブでこのお話をさせていただき米山病の患者を増やしていただきたいと言っていましたのでその言葉をお伝えし、私の卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

### 【出席報告】

会員総数 35 名 出席計算 31 名  
出席 23 名 欠席 8 名  
出席率 74.19%  
欠席：金島君・宮内(秀)君・村田君  
常世田君・上原君・吉原君  
鈴木君・高橋宏明君

### 【M U】なし

### 【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥16,000	計	¥100,000
スモールコイン	¥ 1,950	計	¥ 8,650
米山 BOX	¥ —	計	¥ 9,210
希望の風	¥ —	計	¥ 49,000

秋田県豪雨災害支援例会募金 ¥19,200

次週(9月13日)プログラム

「他クラブの奉仕プロジェクト活動等紹介」  
地区社会奉仕委員長 中村 吉政様  
(勝浦RC)

お弁当：高浦(幕の内)